

一般社団法人 日本家政学会関東支部
2023年度 通常総会議案書

(一社)日本家政学会関東支部

一般社団法人日本家政学会関東支部 2023 年度通常総会次第

日 時： 2023 年 4 月 22 日（土）13 時 00 分～13 時 30 分

会 場： Zoom 開催

1. 開 会

2. 支部長挨拶

3. 議長選出

4. 議 事

第一号議案 2022 年度事業報告の承認に関する件

第二号議案 2022 年度収支決算報告に関する件

第三号議案 2022 年度監査報告の件

第四号議案 2023 年度事業計画案の件

第五号議案 2023 年度収支予算案の件

5. 議長解任

6. 閉 会

【第一号議案】2022年度事業報告の件

1. 総務関係

(1) 会員の状況 (2023年3月31日現在)

正会員 912名 (永年会員41名を含む)

学生会員 71名

計 983名

(2) 総会 (規約第12条(1))

2.1) 通常総会

2022年4月23日(土) お茶の水女子大学およびオンラインのハイブリッド開催
2021年度事業報告及び収支決算、2022・2023年度役員選出
2022年度事業計画及び予算案の承認など

(3) 役員会開催 (規約第12条(4))

3.1) 第1回 2022年4月9日(土) オンライン開催

出席(27名): 支部長、副支部長2、幹事21、監事2、オブザーバー1

3.2) 第2回 2022年4月23日(土) 対面・オンラインのハイブリッド開催

出席(26名): 支部長、副支部長2、幹事20、監事2、オブザーバー1

3.3) 第3回 2022年7月2日(土) オンライン開催

出席(25名): 支部長、副支部長1、幹事21、監事2

3.4) 第4回 2022年11月4日(金)～11月11日(金) メール審議

出席(29名): 支部長、副支部長2、幹事23、監事2、オブザーバー1

3.5) 第5回 2023年3月1日(水) オンライン開催

出席(26名): 支部長、副支部長2、幹事20、監事2、オブザーバー1

(4) 学会賞の推薦

奨励賞候補として、小泉昌子氏と筒浦さとみ氏を推薦した。

2. 財務関係

2022年度も若手の会を組織内に位置付けて、決算に組み入れた決算案とした。

(補助金は組織内部での移動になるため、相殺される。)

ICT講習会(C企画)がハイブリット形式、講演会(D企画)、卒論・修論の研究発表会(E企画)がオンライン形式で実施された。そのうち、卒論・修論の研究発表会については、本部の活動助成金が承認された。当期分の支出は本部交付金と活動助成金の範囲内であり、予算支出合計額を下回った。新型コロナウイルス感染拡大のため講習会での事業収入は無く、役員会は、第2回のみハイブリット形式で実施したが、その他はオンラインで開催したため、会議費や交通費が発生しなかったことから支出も減った。

3. 企画関係

(1) 研究発表会（規約第4条（1））

1.1) 第25回家政学関連卒業論文・修士論文発表会

日時：2023年2月15日（水） 13：00～16：50

会場：共立女子大学（オンライン開催）

演題数：24件（卒論12件、修論12件）

参加者：90名（学会員47名、非会員43名）

(2) 講習会（規約第4条（2））

2.1) ICT講習会

日時：2022年4月23日（土）14：00～15：30

会場：お茶の水女子大学およびオンラインのハイブリッド開催

講師：伊藤大河氏（共栄大学国際経営学部准教授）

「ワンランク上をめざすオンライン授業のエッセンス」

参加登録者：118名（学会員113名、非会員5名）

(3) 講演・講習会（規約第4条（2））

3.1) 学術講演会

日時：2022年9月10日（土）14:00～15:30

会場：Zoom

内容：「社会課題と研究開発 ～食品企業の研究開発の現場から～」

講師：久能昌朗氏（キューピー株式会社 研究開発本部 学術・技術担当）

参加者：67名

4. 広報関係

(1) 関東支部ホームページの管理

関東支部の活動内容のホームページ掲載は、2022度はイベント案内3回（講演会1件、卒論・修論発表会1件、通常総会・ICT講習会1件）、イベントアルバム2回（講演会2件、卒論・修論発表会1件）、議事録3回、議案書1回を依頼した。

(2) 関東支部メールニュースの配信

HP管理と同様に、家政学会本部よりメールアドレスを登録している会員に対し配信を行っている。配信はオンライン開催による全国の会員宛含め講演・講習会等の企画について4回依頼した。

(3) その他の活動

講演会、家政学関連卒論・修論発表会、講習会のイベントについては、HPによる案内だけでなく、学会誌への告知、家政学会メルマガでの配信を行い、関東支部以外の会員にも広く周知した。

5. 若手の会の活動

(1) 会員の状況 (2023年2月現在)

正会員 72名
学生会員 0名
計 72名

(2) 幹事会開催

第1回 2022年5月27日(木) オンライン開催 出席: 幹事 計9名
第2回 2023年2月1日(水) オンライン開催 出席: 幹事 計8名

(3) 企画関係 (規約第4条(2))

3.1) 三支部合同家政学会若手の会茶話会

第1回 2022年5月31日(火) オンライン開催
第2回 2022年12月13日(火) オンライン開催

3.2) 関東支部・若手の会 勉強会&意見交換会

2023年3月に「官能評価の統計解析」についての研修を受け、意見交換を行った。

(4) 広報関係

4.1) 関東支部若手の会ホームページの管理

2023年2月に、役員体制他、関東支部の若手の会ホームページの更新を行った。

【第二号議案】2022年度収支決算報告の件

2022年度 関東支部 収支決算

収入の部

	予算	決算	差異	備考
本部交付金	591,250	583,000	-8,250	交付金：583,000円
本部活動助成金	233,411	56,152	-177,259	E企画：56,152円
事業収入	20,000	0	-20,000	
利息	10	16	6	
当期収入合計(a)	844,671	639,168	-205,503	
前期繰越収支差額	2,060,012	2,060,012	0	
収支合計(b)	2,904,683	2,699,180	-205,503	

支出の部

	予算	決算	差異	備考
1. 管理費				
会議費	30,000	33,566	3,566	
旅費交通費	60,000	57,910	-2,090	
通信・運搬費	30,000	1,370	-28,630	
消耗品費	30,000	830	-29,170	
人件費	20,000	0	-20,000	
印刷費	20,000	0	-20,000	
支払請求金	3,000	2,790	-210	
小計	193,000	96,466	-96,534	
2. 事業費				
総会費	90,000	0	-90,000	
見学・講習会	350,000	101,724	-248,276	
研究発表会	240,000	66,902	-173,098	
研究発表要旨集関連運営費	40,000	0	-40,000	
選挙費	0	0	0	
小計	720,000	168,626	-551,374	
3. その他			0	
予備費	10,000	0	-10,000	
小計	10,000	0	-10,000	

当期支出合計(c)	923,000	265,092		
当期収支差額(a)-(c)	-78,329	374,076		
次期繰越収支差額(b)-(c)	1,981,683	2,434,088		

現金預金の期末残高内訳

	2022年度
手元現金	6,737
若手の会繰越金	236,821
銀行預金（普通預金）	2,190,530
銀行預金（定期預金）	0
合計	2,434,088

私ども監事は、関東支部の監査を行った結果、2022年度の計算書類が正しく示されているものと認めます

2023年 4 月 1 日

監事

森 理恵

森

監事

柳澤 幸江

柳澤

支部名：関東支部

2022年度 関東支部預金収支決算

一般

単位：円

	費目名	収支金額	支出金額	備考
収入	繰入金	2,060,012		
	学会本部より	639,152		
	事業収入	0		
	利息	16		
	寄付金	0		
	収入合計	2,699,180		
支出	引出		243,558	支部6,737円、若手の会236,821円
	事業		262,302	
	手数料		2,790	支払い負担金
	支出合計		508,650	
収支差額（次期繰越額）				2,190,530

定期預金

*平成23年10月18日に解約し普通預金に振込

	費目名	収入金額	支出金額	備考
収入	繰入金	—		
	利息	—		
	収入合計	—		
支出	支出合計		—	
収支差額（次期繰越額）				—

貸借対照表（②関東支部）
（2023年3月31日現在）

科 目	(単位:円)		
	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
手許現金	6,737	19,793	▲ 13,056
普通預金(みずほ銀行)	2,190,530	1,752,835	437,695
通常貯金(ゆうちょ銀行)			
関東支部若手の会	236,821	287,384	▲ 50,563
流動資産合計	2,434,088	2,060,012	374,076
2. 固定資産			
支部大会基金引当預金			
定期預金			
通常貯金(ゆうちょ銀行)			
固定資産合計	0	0	0
資産合計	2,434,088	2,060,012	374,076
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払い金			
負債合計			0
III 正味財産の部			
正味財産			
1. 指定正味財産			
2. 一般正味財産	2,434,088	2,060,012	374,076
負債及び正味財産合計	2,434,088	2,060,012	374,076

私ども監事は、関東支部の監査を行った結果、2022年度の計算書類が正しく示されているものと認めます

2023年4月1日

監事 森 理恵 森

監事 柳澤 幸江 柳澤

【第三号議案】2022年度監査報告の件

一般社団法人日本家政学会関東支部規約に基づき、支部事業および支部会計の監査を実施した。支部監事は役員会に陪席し、審議経過を傍聴するとともに、支部事業に参加し、その実行状況を観察し、会計幹事から決算に関する報告及び説明を受けた。以下は、監査報告である。

1. 総務関係

支部に所属する会員数は、2023年3月31日現在で983名（正会員912名、学生会員71名）であり、2021年度末（2022年3月末）の会員数より7名増加した。1年前は29名の減少、その前が20名、さらに55名の減少であったことから、会員増加は喜ばしい。特に2022年度は学生会員が71名と近年で最も多く、その後の正会員への移行を期待する。

役員会の出席状況は、オンライン開催により良好であり、適正かつ効率的な運営に努めていたと判断する。また、学会賞候補者の推薦など本部との連携も行われている。

2. 財務関係

決算報告書は、予算の区分に従い、決算の状況を正しく示している。

2022年度は、当期収支差額が約37万円の黒字であり、前年度（黒字約43万円）に続き黒字となった。これは、新型コロナウイルス感染拡大により、見学・講習会や研究発表会の支出が大きく減ったことが主な理由である。今後はコロナ禍前の事業体制に戻って行くことを期待し、収支バランスを保って頂きたい。

尚、コロナ禍でこの3年間黒字額が激増し、次期繰越額が約243万円となっている。平成25年～30年までは、繰越額が約50万円程度で推移していた状況を顧みると、支部としての何らかの検討をお願いしたい。

3. 企画関係

事業の実績に関する報告書は、実施状況を正しく示している。

2022年度は、研究発表会（卒業論文・修士論文オンライン発表会）、講習会（ICT講習会、会場とオンラインのハイブリッド開催）、講演会（「社会課題と研究開発～食品企業の研究開発の現場から～」、オンライン開催）が開催され、盛会であった。オンライン開催は、様々な地域、他支部からの参加が可能であり、生活に密接に関わるさまざまな現場との交流や学生の教育機会にもなり、効果的な開催方法であると考えられる。

4. 広報関係

支部ホームページ（本部で管理・更新）にはイベント案内や議事録などを掲載した。

支部会員へのメールニュース（本部より配信）は、メールアドレスを登録している会員に対し講演会の案内を送信した。その他、学会誌への告知も広報に役立っている。

5. 若手の会

2022年度は、中部・関西支部との合同オンライン幹事会を実施し、意見交換等を行った。ライフステージの特徴を反映し、厳しい活動環境の中ではあるが、さらなる組織運営の工夫等により、次世代の育成の機会にすることが期待される。

以上、当支部の事業及び運営は、一般社団法人日本家政学会定款もしくは一般社団法人日本家政学会関東支部規約に則り、概ね順調に行われている。

【第四号議案】2023年度事業計画案

1. 総務関係

(1) 総会（規約第12条（1））

1.1) 通常総会

2023年4月22日（土）にオンラインで開催する。

1.2) 臨時総会

次期役員選挙後、臨時総会を2023年11月頃を開催する。

(2) 役員会開催（規約第12条（4））

年6回の開催を予定している。

(3) 選挙管理委員会の開催（規約第8条）

次期役員選挙のための選挙管理委員会を開催し、役員選挙の実務を行う。

(4) 学会賞・奨励賞の推薦

関東支部会員の学会賞・奨励賞の候補者の推薦を行う。また、公益信託家政学研究所成基金の助成などについても申請することを推奨する。

2. 財務関係

昨年度に引き続き、若手の会の予算を組み入れた予算案とした。若手の会への補助金は組織内部での移動になるため、相殺される。交付金は前年度に比べ、増額されている。これは、選挙費用が含まれるためである。支部本体の管理費、事業関係費は、オンラインでの開催が予定されている分についての経費を一部減額し、その他については前年度予算とほぼ同額とした。選挙費用は前回の選挙費用を踏まえて計上している。

3. 企画関係

(1) 研究発表会（規約第4条（1））

1.1) 第26回家政学関連卒業論文・修士論文発表会

2024年2月に日本女子大学での開催を予定している。

(2) 講習会（規約第4条（2））

2.1) 研究・教育活動に役立つ講演・講習会

2023年4月22日に、教育講演会を開催する。

(3) 見学会・講演会（規約第4条（2）（3））

3.1) 見学会または講演会の開催を予定している。

4. 広報関係

関東支部の活動が一層活性化されるよう、支部ホームページにイベント等の掲載、更新を行い、広く活動内容を広報する。メールニュースを適時配信し、支部で開催する講習会等への参加人数の増加に努める。

5. 若手の会の活動

2023年度年次大会において本部若手の会の企画のバックアップを関西支部若手の会とともに進行。企画については、テーマは2021年度より開始した「災害時に活かす

る」が好評であったこと、企画スタイルに関しては 2019 年度以前に実施していた講演会と見学・体験会スタイルが非会員から好評であったことより、2023 年度は「災害時に活かせる」シリーズの講演会を継続し、あわせて見学・体験会の実施を検討したい。非学会員や幅広い年代の参加者を集うことを目的とする。若手の会幹事会は、関東支部のみではなく本部・他支部との合同オンライン幹事会を含め定期的を開催し、若手の交流と活発な意見交換を行う。

【第五号議案】2023年度収支予算案

2023年度 関東支部 予算案

収入の部

	予算	前年度予算	差異	備考
本部交付金	735,000	591,250	143,750	交付金:585,000円、選挙費:150,000円
本部活動助成金	56,000	233,411	-177,411	E企画56,000円
事業収入	20,000	20,000	0	
利息	10	10	0	
当期収入合計(a)	811,010	844,671	-33,661	
前期繰越収支差額	2,434,088	2,060,012	374,076	
収支合計(b)	3,245,098	2,904,683	340,415	

支出の部

	予算	前年度予算	差異	備考
1. 管理費				
会議費	30,000	30,000	0	
旅費交通費	60,000	60,000	0	
通信・運搬費	30,000	30,000	0	
消耗品費	30,000	30,000	0	
人件費	20,000	20,000	0	
印刷費	20,000	20,000	0	
支払請負金	3,000	3,000	0	
小計	193,000	193,000	0	
2. 事業費			0	
総会費	90,000	90,000	0	
見学・講習会	350,000	350,000	0	
研究発表会	240,000	240,000	0	
研究発表要旨集関連運営費	40,000	40,000	0	
選挙費	230,000	0	230,000	過去の選挙費より試算
小計	950,000	720,000	230,000	
3. その他			0	
予備費	10,000	10,000	0	
小計	10,000	10,000	0	
当期支出合計(c)	1,153,000	923,000	230,000	
当期収支差額(a)-(c)	-341,990	-78,329	-263,661	
次期繰越収支差額(b)-(c)	2,092,098	1,981,683	110,415	